

U.S. Indicators

米国 製造業受注の改善が明確化(17年 1 月製造業受注・出荷・在庫)

: 2017年3月17日 (金)

～機械設備投資の拡大継続を示唆～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治

製造業受注 (Manufacturers' Shipments and Orders) 03-5221-5001											
	出荷			受注				在庫			
	除く輸送機器		非国防資本財 除く輸送機器	除く輸送機器		非国防資本財 除く輸送機器	非国防資本財 除く輸送機器	除く輸送機器		非国防資本財 除く輸送機器	非国防資本財 除く輸送機器
16/01	▲0.1	▲1.2	(▲2.8)	▲1.5	+0.9	▲0.6	(▲3.9)	+2.4	▲0.3	▲0.5	▲0.6
16/02	▲0.6	▲0.5	(▲3.5)	▲1.6	▲1.9	▲0.8	(▲5.2)	▲2.1	▲0.4	▲0.4	▲0.4
16/03	+0.3	+0.9	(▲4.1)	+0.0	+1.7	+1.0	(▲4.3)	+0.3	▲0.1	▲0.0	+0.1
16/04	+0.4	+0.3	(▲3.5)	+0.6	+1.8	+0.3	(▲4.0)	▲0.9	▲0.1	▲0.1	▲0.6
16/05	+0.1	+0.2	(▲3.1)	▲0.7	▲1.2	+0.2	(▲3.3)	▲0.6	▲0.1	▲0.0	▲0.5
16/06	+0.6	+0.5	(▲3.5)	▲0.4	▲1.8	+0.4	(▲4.4)	+0.5	▲0.0	+0.2	+0.2
16/07	▲0.4	▲0.4	(▲3.2)	▲0.7	+1.4	▲0.1	(▲2.8)	+0.8	+0.2	+0.2	+0.2
16/08	+0.2	+0.4	(▲1.8)	+0.1	+0.4	+0.3	(▲1.3)	+1.2	+0.1	+0.2	+0.2
16/09	+0.9	+0.6	(▲0.6)	+0.5	+0.6	+0.6	(▲0.1)	▲1.5	▲0.1	▲0.1	▲0.0
16/10	+0.2	+0.6	(+0.3)	▲0.3	+2.8	+0.8	(+0.5)	+0.5	+0.1	+0.1	▲0.3
16/11	+0.3	+0.4	(+0.4)	+0.7	▲2.3	+0.6	(+1.9)	+1.7	+0.5	+0.6	+0.5
16/12	+2.5	+2.6	(+4.6)	+1.7	+1.3	+2.4	(+5.1)	+0.8	+0.3	+0.5	+0.5
17/01	+0.2	+0.3	(+4.9)	▲0.4	+1.2	+0.3	(+6.0)	▲0.1	+0.2	+0.3	+0.1

1月の製造業受注は前月比+1.2%と高い伸びとなった一方、除く輸送機器は同+0.3%と鈍化した

17年1月の製造業受注は、前月比+1.2%（前月同+1.3%）と高い伸びを続けた。また、変動の大きい輸送機器を除いた製造業受注は、非耐久財の鈍化により前月比+0.3%（前月同+2.4%）と減速した。ただし、12月の高い伸びの後にもかかわらず、拡大しており、均してみれば製造業受注と同様に、輸送機器を除くベースでも改善の動きが明確化している。

業種別では、コンピューター関連、電気機械関連が減少に転じたうえ、一次金属が減少幅を拡大した。また、一般機械、非耐久財が鈍化した。一方で、加工金属、輸送機器が増加に転じたほか、家具・関連製品が加速した。規模の最も大きい輸送機器では、船舶が減少に転じたものの、軍用航空機が増加に転じたほか、民間航空機が加速し、自動車が高い伸びを維持した。

3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率では、1月の製造業受注が+8.3%（前月+0.8%）、輸送機器を除く製造業受注が+4.4%（前月+2.6%）とともにプラス幅を拡大しており、製造業受注の拡大の勢いは強まっている。特に、自動車、アルミニウム・非鉄、加工金属、産業機械、暖房・換気・空調・冷凍設備、電子部品、民間搜索誘導装置、船舶、非耐久財などが堅調さを維持している。

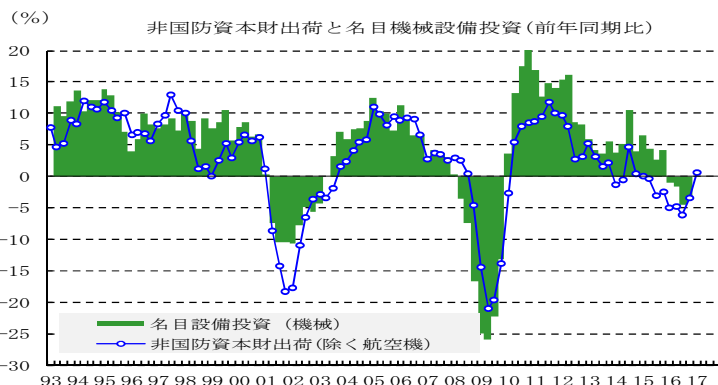
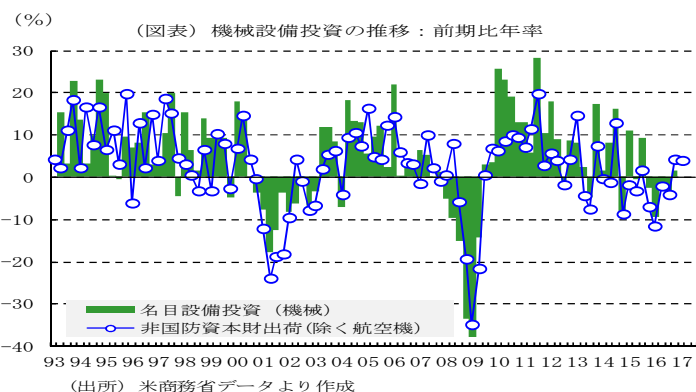
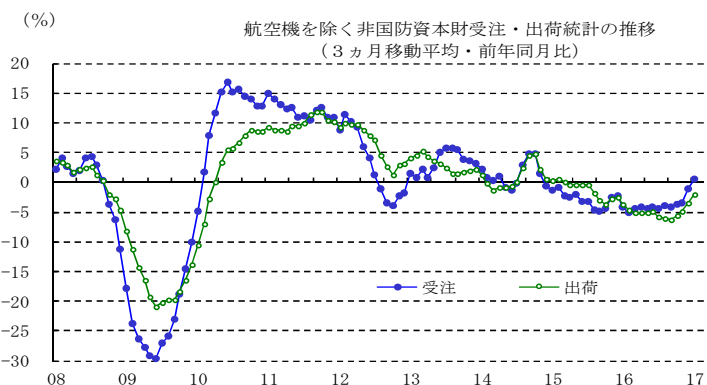
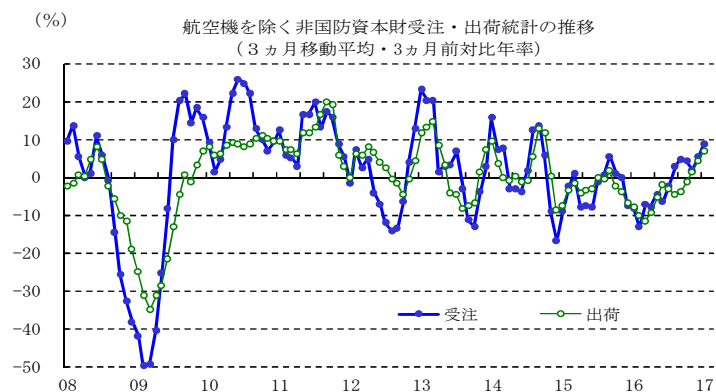
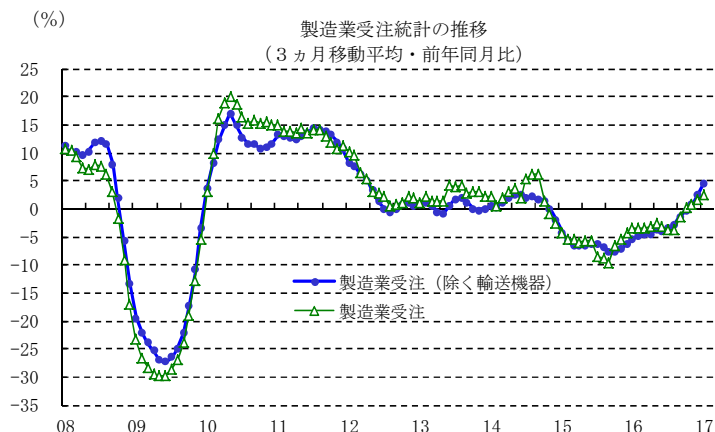
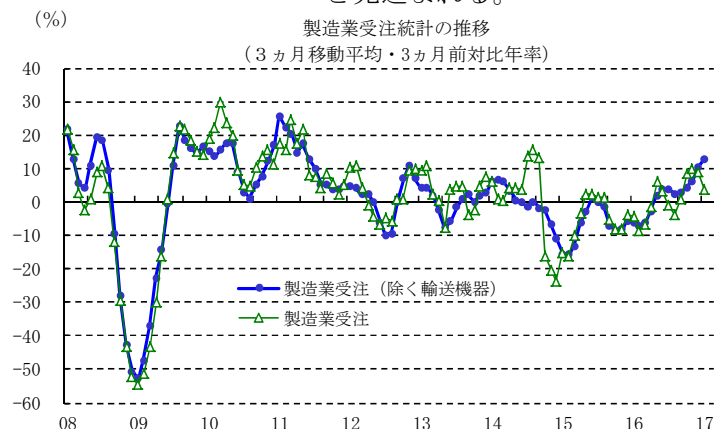
1月の非国防資本財出荷が前月比▲0.4%、受注は同▲0.1%とともに減少した

設備投資関連では、機械設備投資の一致指標である非国防資本財出荷（除く航空機）が1月に前月比▲0.4%（前月同+1.7%）と減少に転じた。ただし、1月の減少は12月の高い伸びの反動であり、四半期でみると、1月は10-12月期比年率+4.0%と10-12月期の前期比年率+4.4%から小幅鈍化にとどまり、拡大している。また、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率では+6.7%（前月+4.4%）とプラス幅を拡大しており、1-3月期の機械設備投資の拡大を示している。

同様に機械設備投資の先行指標である非国防資本財受注（除く航空機）は、1月に前月比▲0.1%（前月同+0.8%）と減少に転じた。しかし、これも前月の反動であり、四

半期では1月は10-12月期比年率で+4.2%と10-12月期の前期比年率+5.5%から小幅鈍化にとどまっている。また、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率では+8.7%（前月+5.5%）とプラス幅を拡大しており、17年前半に出荷が拡大することを示している。

原油価格の上昇、生産活動の活発化等を背景に、機械設備投資は今後緩やかに拡大すると見込まれる。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。